



## 大学生の就活問題

進路説明会では「大学生の就活問題」について触れました。今回は「なぜ就活が大きくとり上げられるようになったか」に関してその背景を説明します。

まず「大学進学率の上昇」です。1970年代には三割程度であった進学率は五割をこえるまでになりました。大学や学部の数も急増し、大学教育や大学生の質の低下をもたらし、企業は採用時選別を従来以上に厳しく実施しなければならなくなったといわれています。

第二は「不況の長期化」です。1990年代初頭の「バブルの崩壊」以来日本は「平成景気」に見舞われます。この結果90年代は「失われた10年」と呼ばれ、この時期に卒業を迎えた人々はなかなかよい就職機会に恵まれず、「ロスジェネ世代」などといわれました。この不況も2003年頃から回復に向かい就活問題も徐々に改善されていきました。しかし2008年のアメリカの「サブプライムローン問題」に端を発する金融危機により今度は世界規模の不況に陥り現在に至ったのです。

第三は「グローバル化の進展」です。特に90年代以降は国を超えて地球規模で物事が即座に影響し合うようになりました。それはインターネットの発達や企業の多国籍化の進展が原因なのですが、かつての「国際化」を遙かに上回る質・量の交流が進んでいます。このため企業ではそうした時代に対応できる人材を求めるようになりました。しかしその変化に大学や大学生が対応しきれていないのではないかと考えられます。

最後に「企業の採用方法」の問題があります。日本では世界的に見て少数派の「新卒一括採用」慣行を持ち、ほとんどの人々が卒業と同時に就職し多くの人が退職までそこで勤め上げます。このため大学卒業時の就活は生涯を左右するイベントとならざるを得ません。しかも就活に関する紹介や申し込みがインターネットによるものが主流となりその規模が全国規模になったために、就活に関する競争がより激化していると考えられます。さらに「就活産業」の発達で競争に拍車がかかり、「大学受験」以上の状況になっているのです。また企業の採用基準が明確ではないことも競争を難化させているとも言われています。

皆さんの大学卒業時にこうした状況が劇的に好転するとは考えられません。大切なのは、就活時に自信や役割意識を保持・向上できるような大学選びをする必要があるということです。就職といっても各々様々な選択があります。困難な状況で最後まで自分を信じて自分なりの生き方をじっくり見つめて就活に臨むことができるかは、高校時代の進路選択とその過程に基づいているといっても過言ではありません。

(文責：今井雅)

### 1年の窓

高校に入って最初の定期テストがせまっています。準備は万端でしょうか。勉強を始めて努力している人ほど、覚えることや解くべき問題の多さに焦りを感じているかもしれません。ですが、テスト勉強も大学受験も基本は同じです。“理解していることを1つずつ確実に増やすこと”を心がけましょう。劇的に成績が伸びるわけではないから小さな成長を繰り返すことが大切です。

中間検査と同時にやってくるワールドカップ、活躍が期待される本田圭佑選手の名言を紹介します。勉強にも通じるものがありますね。

**「人生24時間の一日の中で余った時間は他にもあるわけですよ。それを他のやつが休んでる間に走ることに着手すれば、プラスα、このちょっとが伸びたらすごいことになる」**

(文責 谷)

### 2年の窓

修学旅行が終わり、前期中間検査が始まります。2年生も中盤に差し掛かりかかりました。前号で「2年生は実力をつける期間」という話をしました。7月12日に2年生初めての全国模試があります。力試しです。将来の方向性が決まりつつある人は、冊子『合格ライン』で目標の学校に合格した先輩の平均得点を目指しましょう。まずは、この1ヶ月で普段より増して復習に取り組みましょう。また2年生は将来へ向けて特に考えなければいけない時期です。6月中旬から始まる総合学習では、自分の興味のある分野を調べ、理解を深めることができます。7月22日には、夢ナビという大学教授の授業を受講できたり、学校説明や進学相談を受ける機会があります。さらに、7月～8月のオープンキャンパスに一人1校以上(2校以上が望ましい)行きます。これらの機会を真剣に活用し、将来の道筋を見出しましょう。(文責：竹腰)

### 3年の窓

3年生になって2カ月が終了しました。その間に3回の模試がありましたが結果はどうでしたか?“いい判定”を期待していたのに“E判定”しかついていなくて凹んだ人も多いでしょう。しかし、現在の自分の学習状況を振り返ってみましょう。週末課題や小テストは完璧ですか?その日の授業の内容を、さらっと流す程度でもいいからその日の内に復習をしてから寝ていますか?受け身にならないで、自発的な学習や問題演習に取り組んでいますか?スマホやラジオに意識を散らしていませんか?自らに言い訳をし、今やらねばならないことを翌日に回したりしていませんか?それら当たり前のことが出来て初めて“D判定”以上を期待してよいのです。正直、現段階で「こんなに頑張っているのにどうして結果が出ないのだろう」と言う資格がある人は半分もいないと思っています。自らの限界に挑みましょう。君達の本気を見せて下さい。最初に“E判定”と言われた大学に、折れずに立ち向かって得た合格こそ価値があるもの。最初から”B判定”が付けられた大学に、そのまま無難に合格したとして、自分が成長したといえるのでしょうか? 受験とは単に合格を勝ち取るだけのものではなく、己の成長を勝ち取るものでもあります。苦しいだけのものではなく、充実感も得られるもの。あと9カ月、真剣にやってみよう。

(文責：鈴木貴)

## ○文系の窓○ 「文系」ってなに？

皆さんは「文系」と聞くとどんなイメージをいただきますか。教科で言えば「国語」、「英語」、「社会」等々。では、大学の文系学部と言われたらどうでしょう？ 「文学部」、「外国語学部」、「法学部」、「経済学部」あたりが思い浮かぶことでしょうか。

さて、ここにある大学の総合政策学部の学生の卒業論文のテーマがあります。

「学童保育によるコミュニティ形成～日進市学童保育を事例として～」、  
「テレビCM分析」・「“悪女”という表象」

そもそも、総合政策学部とは、国家や地方公共団体における政策の立案、企業、国際機関、その他の非営利団体における政策立案の専門家・実務家・研究者を養成することを目的とし、社会科学をベースとしつつも、政策の分析や立案に必要な人文科学・自然科学の諸分野を横断する学際領域までも包括的に研究対象とする学部です。

実は、「文系」といっても、そこには学際的で多様なアプローチの仕方があるのです。

上の「“悪女”という表象」なんてテーマ、総合政策とはおおよそ関係なさそうに見えますが、「ジェンダー」という見地から分析をした研究のようです。

法学部だから法律を学ぶ、経済学部だから経済のしくみを学ぶという単純なものではありません。自分の興味関心があることにどんな視点からアプローチするか、どんな観点からアプローチしたらおもしろそうか、そんなことを考えてみるといいと思います。

先日ある大学の先生の訃報が新聞に載っていました。その先生の開拓した学問は「大阪学」。大阪という街が学問になるのです。「名古屋学」「東濃学」「多治見学」だってあってもいいのです。本校の先生方が大学時代に、どんな学部でどんな研究をされたか、次号より紹介していこうと思います。 (文責 大島)

## ○理系の窓○

最近花を買ったのはいつですか？5月に母の日がありました。花を贈った人もいるのではないのでしょうか。さて、今回のテーマは「花」です。毎シーズン多くの新品種が発表されます。それぞれ様々な特色を持っています。咲き始めから色が変化するものだったり、長期間咲き続けるものだったり、香りが強いもの、丈夫なもの…。これらの花は品種改良によって作られています。どんな品種同士を交配すれば病気に強い花ができるか、花をたくさんつけるのか。実は、交配してから品種登録されるまでには10年程の時間がかかるのです。新種開発にはとても根気がいるのですね。でも、自分で新しい花を生み出すってなんだかロマンチックじゃないですか？クレチマスの「レディ・キョウコ」という品種は育種者のお嬢さんの名前からとったそう。新品種には奥さんの名前をつけたり、恋人の名前をつけたり、なんて夢みるのも素敵です。

花の新品種開発に興味がある人は以下の大学学部を例にあげますのでチェックしてみてください。

岐阜大学の応用生物科学部の生産環境科学過程・応用植物科学コースの中に園芸学研究室があります。ここでは国内で唯一、バラについて詳しく学べます。

岡山大学農学部には応用植物科学コース、高知大学農学部の暖地農学コースでは、高知県ならではの温暖な気候に基づいて暖地における農業生産について研究しています。高知県は園芸王国なんて言われたりもしますね。千葉大学には園芸学部があります。名前の通り農学部とも理学部とも違う、とてもユニークな学部です。

農学部といってもとても幅広い分野があります。今回はその中の園芸に注目しました。 (文責：渡部里)

## ☑総合学習の扉☑

第2回 総合学習の扉をひらいてみよう！

楽しい修学旅行も終わり、これから本格的にゼミ学習がスタートします。気持ちの切り替え、進路に目を向けていきましょう。今回は、今までの先輩方が何をゼミで学んできたかを紹介しようと思います。文系と理系では、内容が違いますので分けてそれぞれ紹介していきます。

文系で多かったのは、それぞれの個人テーマを決め、調べ、レジュメにまとめ、発表する方法です。では、どのようなテーマを先輩方は選んできたのでしょうか？

人文科学系 日本語にあって英語にない表現（語学・国際）／現代に残る陰陽道の風習・行事（歴史）

社会科学系 コンビニの商品配置（流通）／AKB48の経済学（経済）／死刑制度の是非（法）

人間科学系 人はどこに魅力を感じて好きになるのか？（心理）／フィンランドの教育制度（教育）

医学系 日本と海外の医療制度の違い（看護）／炭酸に秘められた力（栄養）

これらのテーマは先輩方の中で、学年代表として発表をしたものです。今年も学年発表の実施を計画しているので良い研究を行い、発表者に選ばれるように頑張りましょう。

理系は、昨年から学部学科調べを行っています。学習方法は文系と同じでした。では、昨年の例です。

自然科学・工学系 名古屋工業大学デザイン・建築工学科について／宇宙関係の職に就くためには？

こちら文系同様、学年代表として発表しました。今年の理系は、学部学科調べ+αを考えていますので何をやるかは楽しみにしててください。

気持ちを切り替えて真剣に自分の進路を検証していきましょう！ (文責 波勢)

## ○Book Review○ 三田紀房ほか『ドラゴン桜公式ガイドブック東大へ行こう！』 完全版 2005(講談社)

「受験勉強は大変・・・」、「勉強しなくてはいけないことは分かっている。でも具体的な勉強法が分からない・・・」等々、誰もがぶつかる壁を打ち砕いてくれるのが『ドラゴン桜公式ガイドブック東大へ行こう！完全版』。

『ドラゴン桜』は、偏差値30台の落ちこぼれ高校生が、たった一年で東大合格をめざすストーリーで、受験生の一年を時系列に沿って、何をどうこなしていくべきなのか具体的なテクニックから心理的なサポートまでが描かれている。

「要点は書き写すのが一番 蛍光ペンで線を引くな!」、「見かけに騙されず長い文章題から解け!」など、まずは読んでみて、みんなの勉強法の参考にしてみたらどうだろうか。

「マンガは読書じゃない」と言われるかもしれないので、公式ガイドブックを紹介しますが、『ドラゴン桜』は本屋さんでは参考書コーナーに置くところもあった作品。受験生なら一見の価値あり。他にも、ドラゴン桜公式副読本『16歳の教科書』もおすすめの一冊。16歳、17歳の高校1年生、2年生に読んでみてもらいたい一冊です。コミックではなく『小説ドラゴン桜』もあります。「特進クラス始動篇」、「カリスマ教師集結篇」、「挑戦!東大模試篇」、「メンタル超革命篇」、「魂のエンジン篇」の5冊があります。 (文責：大島)

